

JSD(サービス流通連合)
2005年度 第1回
広島県まちづくり実行委員会
運営会議

2005.8.22

福屋労働組合事務所

出席者

氏名	所属	備考
朝村 直樹	福屋労働組合 執行委員長	まちづくり委員会実行委員長
武藤 真吾	三和ストアー労働組合 執行委員長	
北村 宏二	全天満屋労働組合 アルパーク分会長	
五龍神田 昌二	全ふじおか労組 書記長	
梅田 親弘	メガネの田中労働組合 執行委員	
三満謙介	福屋労働組合 書記次長	
木原章太郎	福屋労働組合 書記長	事務局

なぜJSDがまちづくり？

私たちがまちづくりに 取り組むのこの意義

**有効な政策実現活動として
取り組めます！**

**地域社会における、
私たちの役割として
取り組めます！**



「まち」とは、「居住」「就労」などの場であると同時に、生活関連物資を調達し消費する場でもあります。住宅、病院、学校と同じように、商店の存在しない「まち」はあり得ず、また、居住機能、就労機能など同じように、生活者へのサービス機能をもたない「まち」はあり得ません。



流通・サービス産業は、良質・安価かつ安全な商品・サービスを提供することで、地域住民の生活基盤を支えるという基本機能に加え、生活スタイル提案、情報発信、地域コミュニティー・レジャーの拠点として地域生活者の“暮らしの質”の向上に貢献する役割も発揮してきました。



また、流通・サービス産業は、我が国において最も雇用規模の大きい産業であり、就労の受け皿として地域社会の雇用を支えるという大きな役割を担っています。



さらには、店舗に多くのヒト・モノが集まる機能を持った流通・サービス産業は、ゴミ問題、交通渋滞、青少年の非行など、社会問題の発生源になりやすい性格を有しており、生活環境保護の視点からも「まち」に大きな影響を与えています。



このように、流通・サービス産業は、他産業と比べ地域の生活・文化と密着度の高い産業として「まち」に欠かすことのできない重要な一要素であり、地域社会の中で大きな役割と責任を担っています。流通・サービス産業だけでは「まち」はつくれませんが、流通・サービス産業がなければ「まち」はつくれません。私たちの産業は、まちづくりにおいて One of Them の中の重要な One であると言えます。



特に現在、日本経済が極めて厳しい状況にある中、私たちの産業の衰退が地域社会へ与える影響は大きく、地域社会の繁栄・発展や地域生活者の暮らしの向上といった観点からも、私たち流通・サービスの産別労働組合が「まちづくり」という地域社会の問題に正面から取り組むことの意義は極めて大きいと言えます。

目指すべき「まち」の姿



◎個性や価値観を超えて多様な住民が互いに支えあう
人にやさしいまち

◎一人ひとりが自己成長と自己実現をめざせる
活力ある「まち」

◎独自の伝統や文化を育み、人々が誇りをもって暮らせる
個性豊かな「まち」

2. まちづくり運動のさらなる推進

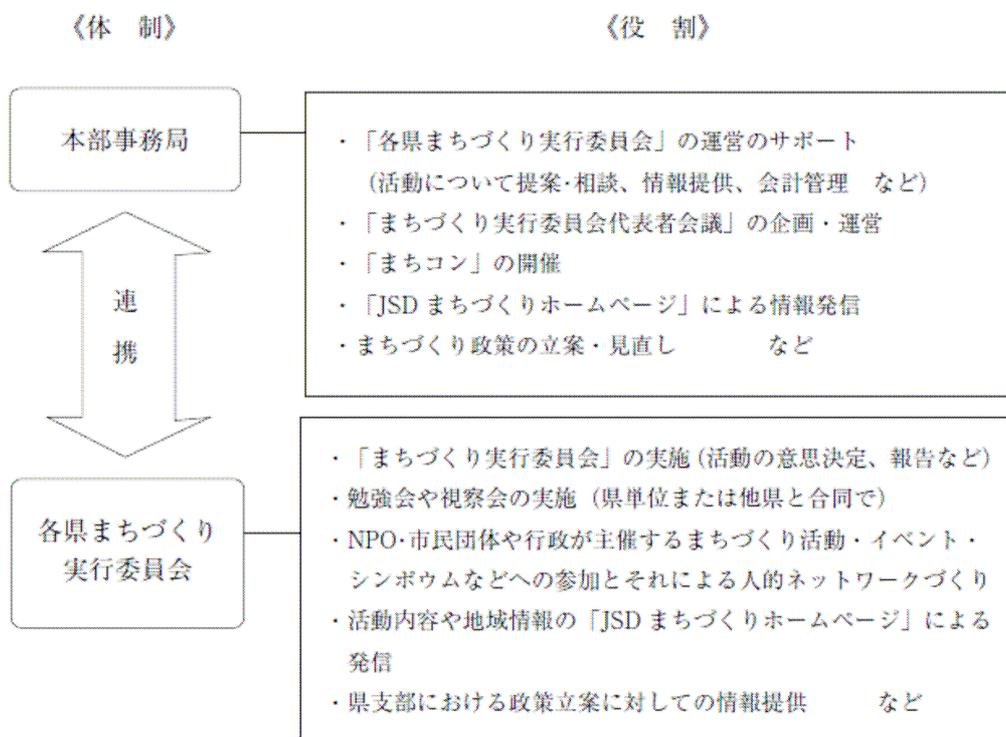
まちづくりの実践活動の広がりを目指し

今期については、より実効的な取り組みを各地域ですすめるために、推進組織を地区単位から一歩進めて、より小さな県単位として、今まで以上に多くの加盟組合と組合員の皆さんを巻き込むことができる体制とした。

まちづくりの取り組みは、本来、「加盟組合が組織として、また組合員が個人として、それぞれ実践活動を行うことができるようにするための活動」であるという認識のもと、今期はとくに、新しい県単位の組織体制を実効力のあるものにしていくことにより、組織と個人の意識を醸成していくことを最大の目標として活動をすすめていく。

初めてとなる各県まちづくり実行委員会の活動を、本部事務局が実務面でしっかりサポートしていくとともに、新たに立ち上げた「JSDまちづくりホームページ」を有効に活用した情報発信を積極的に行っていく。また、昨年初めて実施したイベント「まちコン」を、内容を大幅に見直して開催するなど、これまで行ってきた取り組みもさらにブラッシュアップした形で実施していく。

今期の実行体制



重点活動項目

(1) 具体的活動をすすめるための実行体制の構築

- ・役割分担に基づき、各県まちづくり実行委員会と本部事務局との連携をしっかりと行い、実行力ある組織づくりに取り組む。

(2) 加盟組合・組合員の意識の醸成

① 各県まちづくり実行委員会の充実

- ・年間に6回以上の活動を行う。 *ここでいう活動とは、
 - イ) 活動の意思決定・報告を行う「まちづくり実行委員会」の実施
 - ロ) 勉強会・視察会の実施（講師をお呼びして講演などを行う勉強会、現地を実際に訪問して関係者から話を伺う視察会）
 - ハ) NPO・市民団体や行政が主催するまちづくり活動・イベント・シンポジウムなどへの参加
などを基本的な取り組み項目として想定するが、下記のような県独自の取り組みも含まれる。
 - ニ) 他県委員会や他団体などと合同で行うシンポジウム
 - ホ) 自分たちが主催するまちづくり活動・イベント など
- ・上記ロ)ハ)の活動などで関わったNPO・市民団体とは交流・情報交換をしっかりと行い、次の取り組みに繋がるようなパートナーシップの構築をすすめる。
- ・各県における取り組みにおいては、県支部組織との連携をはかりながら、できるだけ多くの加盟組合に参画を促していくことで、各労組独自の取り組みの実施への進展をはかる。

② 「まちコン」の開催

- ・市民を巻き込んだまちづくりイベント「まちコン」の開催を通じて、JSDが行うまちづくりのモデル事例として発信していく。
- ・2005年度については、中心市街地の空洞化に悩む山形市において、「市民が手作りで企画・運営・参加するまちの活性化イベント」のアイデアを競うコンペとして実施する。コンペ後には、実際にイベントを実施してまちの賑わいづくりにつなげるとともに、イベントをつくりあげるプロセスを通じて、まちづくりの担い手となる人づくりにも合わせて取り組む。
- ・昨年行った岐阜市においては、その後の取り組みについて情報収集を行い、できる限りのサポートを行っていく。

③ ホームページなどによる情報発信

- ・本部が行う取り組み（「まちコン」「まちづくり実行委員会代表者会議」）については、ホームページや機関誌にて詳しい内容の報告を行う。また、本部事務局が取材した地域や団体の情報についても、ホームページ上で発信していくことにより、組合員個人への浸透をはかっていく。
- ・各県の活動についても、実行委員会以外の活動内容や、地域のNPO・市民団体との交流で得た情報などを随時ホームページで発信して、全県で情報の共有化をはかる。

(3) 政策・制度要請に向けた取り組み

- ・本部事務局において、まちづくりの取り組みに必要となる政策制度の立案に向けた取材・研究を継続して行う。
- ・各県実行委員会においては、県支部の地方連合会への政策要請活動に合わせて、県独自の政策立案に対しての情報提供を行う。

広島県 まちづくり実行委員会 2005 年度 活動計画書

作成日	作成者名（労組名）
8月 22日	木原章太郎（福屋労働組合）

①運営会議スケジュール（県支部会議と併催）

開催日	開催場所	内 容（議題）	予算(円)
8/22（月）	福屋労組事務所	年間スケジュール、活動内容について	1万円
10/下旬	未定	勉強会「まちづくり活動とは？①」 (JSD 政策の理解、具体的活動例) 活動視察他のスケジュール確認	1万円
1/中旬	"	勉強会「まちづくり活動とは？②」 (NPO の取り組みなどについて研究)	1万円
4/中旬	"	勉強会「まちづくり活動とは？③」 (ワークショップのすすめ方、活動のプログラム・プロセスデザインについて研究)	1万円
6/月上旬	"	勉強会「まちづくり活動とは？④」 (模擬ワークショップ体験)	1万円
合 計			5万円

②具体的活動スケジュール（視察会・シンポジウム・他団体のイベントへの参加 等）

開催日	開催場所	内 容	予算(円)
8/下旬	事務局より	メールマガジンの創刊、加盟単組へ情報発信 (年間を通じて)	0円
10/下旬	広島市内	・まちづくり団体との交流、視察会 (カフェテラスクラブ・雁木タクシなど)	1万円
10/下旬	広島市内	・カープフォーラム「コイするまち広島」へ参加	1万円
11/下旬	まちづくりプラザ	・ひと・まち広島未来づくりファンド「ふむふむ」 中間活動発表会を視察 (可能ならば運営スタッフとして参加)	1万円
2/中旬～	広島県内	・各種活動の視察、参加（具体的な場所等は年度後半で再確認。2-3回実施予定）	4万円
合 計			7万円

* 留意事項

- 2005年7月から2006年6月までの活動計画を立ててください。
- 予算については、各県一律『2005年7月～2006年3月まで10万円』
『2006年4月～6月まで2万5千円』が基本となりますが、
交通費・会場・活動内容等の都合でオーバーせざるをえない県については、それぞれ倍額まで増額できます。詳しくは、担当・向圍(むこうぞの)までご相談ください。

<情報発信について>

メールマガジンの発信（月2～3回）

JSD広島県まちづくり実行委員会通信 Vol.0

2005.08.11 発行

■====【JSD「まちづくり政策」を理解し、実践しよう！】====■

このメールマガジンは、実験的に送信しています。

広島県まちづくり実行委員会として実践活動をすすめるにあたり、
各種情報発信に有効な手段としてメールマガジンを発行してはどうかと
考えました。

詳しくは8月22日の広島県支部会議と併催の実行委員会会議にて協議したいと思います。

さしあたっては、事前学習？として以下のURLをクリック！

JSDまちづくりホームページ

<http://www.jsd-machi.org/>

同じく「まちコン」アイデア募集

<http://www.machicon.jp/>

広島市まちづくり市民交流プラザ

<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

現在事務局個人としていくつかのまちづくり団体と連携を図っています。

いきなりの実践活動になるかもしれませんが、私も参加するイベントのご案内。

入門編にもってこい？カープファンなら是非ご参加下さい。

~~~~~

カープフォーラム 2005 夏

「みんなでつくろう！コイするまち広島」

日時：平成17年8月20日（土） 15：30～

18：00～

カープ対ジャイアンツをテレビ観戦しながら意見交換（任意）

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 6階マルチメディアスタジオ

内容：

(1) 議 題

カープを活かした広島のみちづくり（「コイするまちづくり」）についてのアイデア募集

(2) 方 法

ワークショップ方式（5名程度で4～5グループに分かれて自由にアイデア出し）

(3) その他

当フォーラムで出たアイデアは秋に開催予定の「カープフォーラム 2005 秋」で紹介したり  
球団への提案、マスコミへの情報提供などをする予定です。

参加を希望される方がいらっしゃいましたら事務局まで

~~~~~

〇〇・〇・〇。〇・〇。〇・〇・〇。〇・〇・〇。

広島県まちづくり実行委員会事務局

〒730-0021 広島市中区胡町 6-26

福屋労働組合書記局内 担当：木原

TEL 082-246-6579 (IPtel) 050-3353-1408

FAX 082-246-6581 fukuya-jsd@deluxe.ocn.ne.jp

〇〇・〇・〇。〇・〇。〇・〇・〇。〇・〇・〇。

次回まちづくり委員会運営会議について

・・・10月下旬（広島県支部会議と合同開催）

その他活動情報はメールマガジンなどで情報提供します。